

第6回絆づくりこうなん実行委員会 会議要旨

日時：平成23年12月7日（火） 午後1時半～3時半

場所：市民・協働ステーション（情報センター2階）

フリースペース

議題：『この指とまれ 絆づくりカフェ』について

- (1) 当日の全体スケジュール
- (2) 会場レイアウト
- (3) 交流会
- (4) 団体 PR
- (5) その他

■団体 PR 参加申し込み状況について

- ◆前回、第5回委員会の検討結果を受けて、『この指とまれ 絆づくりカフェ』での団体 PR 参加についての照会文書を市登録団体あてに郵送しました。11月30日が申し込みの締め切りであり、回答結果を委員全員で共有した後、話し合いを始めました。

※団体 PR 参加申し込み状況（回答団体数：5団体）

PR 方法	申込団体数
プレゼン（時間 5～10分程度）	1
パネル展示（展示スペース 模造紙（790mm×1,090mm）1枚以内）	5
ブース出展（利用可能備品 机1本、椅子2脚）	2
チラシ設置（チラシを置くのみ）	2

- ・ブース出展の1団体は、確定ではなく未定
- ・市登録団体への郵送の他に、社会福祉協議会から関係団体あてに郵送していただいた。

『この指とまれ 絆づくりカフェ』について

■申し込み状況を踏まえて、スケジュール、会場レイアウトをどうするか。

- ・参加団体があまり多くないのであれば、2階にまとめる方法もあると思う。団体を掌握しやすいし、まとまりがよい。
- ・足の不自由な方、車椅子の方は1階でないかと参加が難しいのではないかと。
- ・自分の関わりのある2団体は回答している。募集期間中にいくつかの団体の代表に会ったが、「意味がわからないから、団体内で話題にもあげなかった。」との意見があった。文書では企画の主旨が伝わっていないと思った。
- ・初めての試みなので、なかなか伝わらないと思う。実行委員会のメンバーには、周囲に伝える役割を担ってほしい。
- ・私は本日、関係する団体の申込書を持参した。他の委員も参加しようと考えている方が多いのではないかと。
- ・委員関係や1月号広報での参加申し込みがあったとしても、そんなに状況は変わらない前提で、

すべての PR を 2 階にまとめる意見でよいか。

- 一般の市民の立場から言うと、2 階は入りにくい。1 階にふらりと立ち寄れる雰囲気がないと、2 階に上がりづらいと思う。PR は 1 階をメインにして、2 階は関係者の交流の場にした方がよいと思う。区の役員をしていた時でさえ、この施設は入りにくかった。
- サロン風に気軽に入れる意識づけをするなら、PR は 1 階で行った方がよい。団体同士でじっくり話し合うのであれば、2 階のブースを利用するとよいと思う。1 階にもお茶のみスペースは必要だと思う。
- 2 階はスペースは広いが、ふらりと立ち寄る雰囲気に欠ける。1 階は、スペースに限りがあるが、ふらりと入れる。何を重視するかが問題なのだと思うが、「参加者を募る」部分を重視したい。
- レイアウトとしては、1 階ギャラリーでパネル展示、ギャラリーまたは入り口を入ってすぐのスペースでブース展示。タイムスケジュールとしては、午前中は交流会をメインに、午後は展示をメインに実施する案でよろしいか。
- 参加申し込みが少なすぎる。私は、少なくとも 30 団体は申し込みがある前提でレイアウトを考えてきた。
- 委員の関係団体も申し込みれば参加はもう少し増えると思うが。他の団体に求めるだけではダメだと思う。委員は展示する側としても参加するべきではないか。
- 自分が関係する団体は様々な場で常に PR している。その PR によって、色々な分野の団体と関わりができ、活動が広がってきている。既存の団体が今実施している事を紹介するのではなく、新しい団体が新しい事を提案してそれに対する仲間を募る必要があるのではないか。
- この企画は、新しい団体だけの PR の場ではない。どのような団体がどのような活動をしているのか知らない人が多いので、既存の団体が普段の活動の様子を紹介する場に活用してほしいと思う。
- 自分の思い描く企画案を提案しても、「それではテーマが偏り、皆が参加できる企画にはならない。」と否定された。聞いてもらえないと思うと自分の意見を言う気にならない。
- 絆づくりの全体の企画として、テーマをしぼるのは参加者が偏るといった話し合いはあったが、『この指とまれ 絆づくりカフェ』の団体 PR への参加を否定するものではなかった。むしろ、自分の思い描く企画案を実現するために、団体 PR に参加して仲間を募ってほしいといった話になった。
- 私は様々な場面で活動をしている。例えば、公共施設の備品の修繕をしている。環境の出前事業をしている。それらの活動をする中で理解者は増えていく。
- ロコミで活動を広めて仲間をつくるのも一つの大事な方法だと思う。今回はそれに加えて様々な人に活動を周知する場を企画する。ぜひこの場を利用して今の活動を PR してほしい。
- 既存の活動を知っている人は少ない。今の活動を PR して、仲間を募ってほしい。決して既存の活動を否定するものではない。
- 実行委員会として、パネルを作成してはどうか。
- 午前中は交流会を行うとしても、皆が全員 2 階に固まるのではなく、実行委員の中で誰かは 1 階で留守番係（2 階への案内人）として留まる必要があると思う。
- 実行委員の当日の役割分担はまた別の機会で検討していく。

※当日スケジュール、会場レイアウトについて、以下の点が決まりました。

- ・パネル展示、ブース出展は1階ギャラリー付近で行う。
- ・皆が集まる交流会を2階で行う。

■交流会はどのように進めるか。

- ・委員の中で担当テーマを決めて、5人一組でそれぞれのテーマで話し合ってみてはどうか。
- ・江南市の市民活動を語ってもらえる方（江南短大の教授など）に、基調講演をお願いしてはどうか。会がしまると思う。「まちづくりの秘訣は何？」をテーマに話してもらってはどうか。
- ・市内で実際に活動している方に体験談を話してもらい、その活動について話し合う会にしてはどうか。または、プレゼンの参加希望者が少数なら、交流会のはじめに行ってもらってはどうか。
- ・市の補助金「地域まちづくり補助事業」の実施団体に活動の発表をしてもらってはどうか。
- ・テーマを決めるとすれば、どのようなテーマが考えられるか。
①子ども、②保健・健康、③環境、④防犯・安全、⑤生きがづくり
- ・テーマを決める方法であれば、実行委員が今どのような分野で話せるかを考える必要があると思う。知識がない分野に振り分けられても話しはできない。また、テーマ制であれば強制的な入れ替えはできないと思う。
- ・テーマを決めると、結局既に関わりのある人とおしゃべりにならないか。別の分野で活躍している人と話す企画にしたい。友達と参加して、結局友達と話しているだけではダメだと思う。全体で話し合えるような企画がよいのではないか。
- ・当日行うアンケートについて、出入口に用紙を置いておいて「良かった、悪かった」を記入してもらおう方法の他に、実行委員が参加者に直接問いかけて話を聞くモニタリングのような方法がある。
- ・良い、悪いの「○付けアンケート」ではなく、市民活動についての思いや悩みなどを聞きだせるアンケートを行いたい。
- ・広報に案内を掲載するのであれば、「あなたが実施したい市民活動はなんですか？」といったアンケートも掲載して、それを当日持ってきてもらうようにすれば、市民の意見が聞けるのではないか。
- ・広報にアンケートを掲載するのは難しいと思う。チラシの裏面にアンケートを用意してはどうか。「当日持ってきてください。FAX、郵送も可」と。
- ・FAXや郵送ではなく、当日持ってきてもらうようにしたい。意見を言いつばなしではなく、文章だけでは表現できない部分まで語りに来てほしい。
- ・アンケートは誰を対象に行うのか。一般市民なのか、団体なのか。対象によって質問項目は変わってくる。また、質問項目が1つでは寂しい。2、3用意する必要があるのではないか。
- ・今検討しているアンケートは、基本的には市登録団体に向けて行うものである。
- ・チラシが届くタイミングが遅いと周りに配ることができない。市登録団体への郵送時期はいつ頃か。（1月中旬を予定）
- ・チラシでは、交流会は午前中と案内してよいか。

- ・交流会は午前・午後共に開催する必要があると思う。参加者によって、午前・午後どちらが都合良いかはそれぞれだと思う。
- ・①10時半～、②13時半～の2回開催してはどうか。
- ・午前、午後の交流会がどの程度の規模なのか。大交流会を午前中に実施して、午後は集まる人のみで考えるのか。
- ・参加希望の状況をみて、随時検討したい。
- ・交流会2回以外は展示のみでは場が持たない。体験教室などを設けるべきだと思う。
- ・もし余裕があればリハーサルを行いたい。
- ・団体PRの事前説明会に皆が集まるので、その時にリハーサルを行ってはどうか。
- ・テーマ制で交流会を行うのであれば、それぞれのテーマの専門家にボランティアでアドバイザーとして参加してもらってはどうか。環境なら環境課職員、子どもなら保育士、防災安全なら消防署員、防犯なら警察など。皆の話し合いにアドバイスしてもらってはどうか。
- ・何人の参加があるかがみえない状況で、専門家を集める必要があるのか疑問である。集まってくる市民の中には、NPOでそれぞれの分野で活動していて、専門的な知識がある人がいる。
- ・1月広報による参加申し込みの状況を待って、「専門家案」は1月の段階で考えてもよいのではないか。
- ・チラシには、交流会を午前、午後（①10時半～、②13時半～）の2回開催で案内する。チラシの裏面に掲載する「当日持参のアンケート」は、会長に一任でよろしいか。（会長、12月中にアンケート作成）
- ・チラシの裏面では、アンケートを提出してしまうとチラシが手元に残らない。別の紙で用意してほしい。
- ・当日持ってきてもらったアンケートはどうするのか。貼り出すのであれば、A4で用意した方がよい。
- ・貼り出すことを前提に、チラシとは別に、A4用紙1枚のアンケートを市登録団体に郵送する。
- ・1月広報による申し込み締め切りは、平成24年1月20日（金）とし、事前説明会は1月29日（日）とする。
- ・1月29日は、9時～11時にリハーサル、11時～12時に説明会を行う。

※交流会、団体PR事前説明会について、以下の点が決まりました。

- ・1月号広報での団体PR参加申し込み締め切りは平成24年1月20日（金）とする。
- ・交流会は午前、午後の2回（①10時半～、②13時半～）開催する。
- ・交流会は5人1チームで、テーマを設けて話し合う。
- ・市登録団体への案内（チラシ、当日持参アンケート）は1月中旬までに郵送する。
- ・当日持参アンケートは、貼り出せるよう、A4用紙1枚でまとめる。
- ・1月29日（日）9時～11時：リハーサル

11時～12時：団体PR事前説明会（申し込み団体に案内する）

■2月号広報記事（案）について

- ・2月号広報記事（案）では、「NPO・ボランティア」が前面にあって、一般の市民が気軽に参加

しようと思う文面ではない。団体ではなく、一般市民に呼びかける文面を考えたい。

- ・「ボランティア」の言葉からは、無償でトコトン奉仕しなければならないイメージを抱く人が多い。「市民活動」に変えてはどうか。
- ・「生きがいづくり」も入りやすい言葉だと思う。

※2月号広報記事について、委員の意見をまとめ以下の（案）が決まりました。

『みんなで楽しくまちづくりを！「この指とまれ 絆づくりカフェ」 これから市民活動や生きがいづくりを始めたいと考えているひと。そんな皆さまの“絆とネットワークづくり”のきっかけとなる交流会を開催します。ぜひ参加ください。』

■次回実行委員会

- ・日時：平成24年1月24日（火）午後1時30分～
- ・場所：市民・協働ステーション（地域情報センター2階）
フリースペース